

大野町 小中学校のあり方検討

学校規模適正化についてのアンケート
【調査結果】

令和 4 年11月

◆ 調査の目的

本町における小・中学校の適正規模・適正配置や望ましい教育環境について、保護者、児童・生徒、教職員、地域住民の意向を把握する。

◆ 対象別配布数、回答数

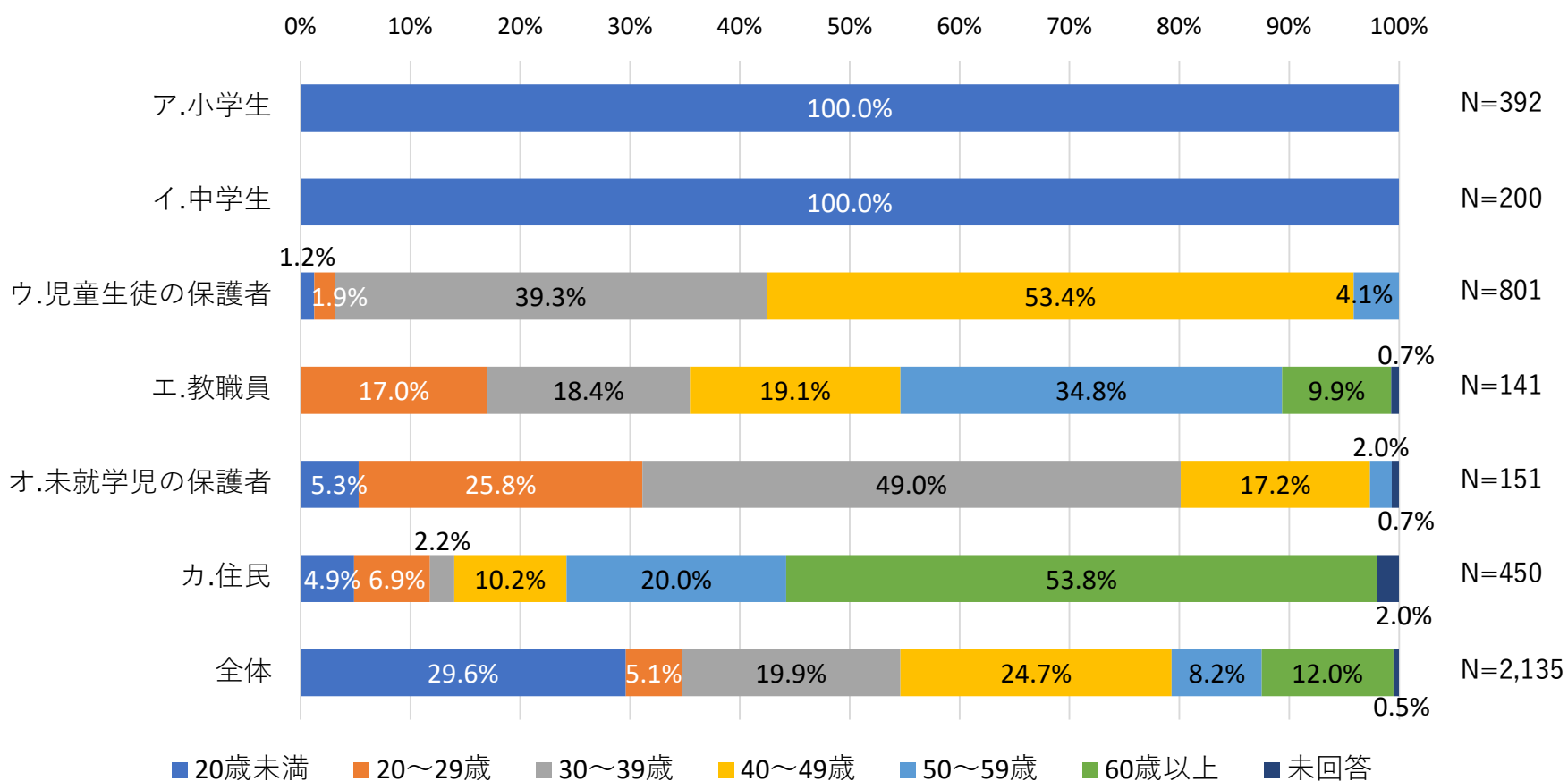
対象	配布数	回答数	回答率	回答割合
ア. 小学校児童	419	392	93.6%	18.4%
イ. 中学校生徒	213	200	93.9%	9.4%
ウ. 児童・生徒の保護者	1,220	801	65.7%	37.5%
エ. 教職員	170	141	82.9%	6.6%
オ. 未就学児の保護者	302	151	50.0%	7.1%
カ. 地域住民	1,300	450	34.6%	21.1%
計	3,624	2,135	58.9%	100.0%

◆ アンケートの設問

- Q1：年齢
- Q2：小学校区
- Q3：児童・生徒数についてどう思うか
- Q4：Q3の理由
- Q5：1クラスあたりの望ましい人数
- Q6：1学年あたりの望ましいクラス数
- Q7：Q6で「1クラス」と回答した理由
- Q8：Q6で「2～3クラス」「4クラス以上」と回答した理由
- Q9：Q6で「複式学級でもよい」と回答した理由
- Q10：学校の規模だけを考えた場合、どのようにするのが望ましいか
- Q11：自由回答

◆ Q1：年齢

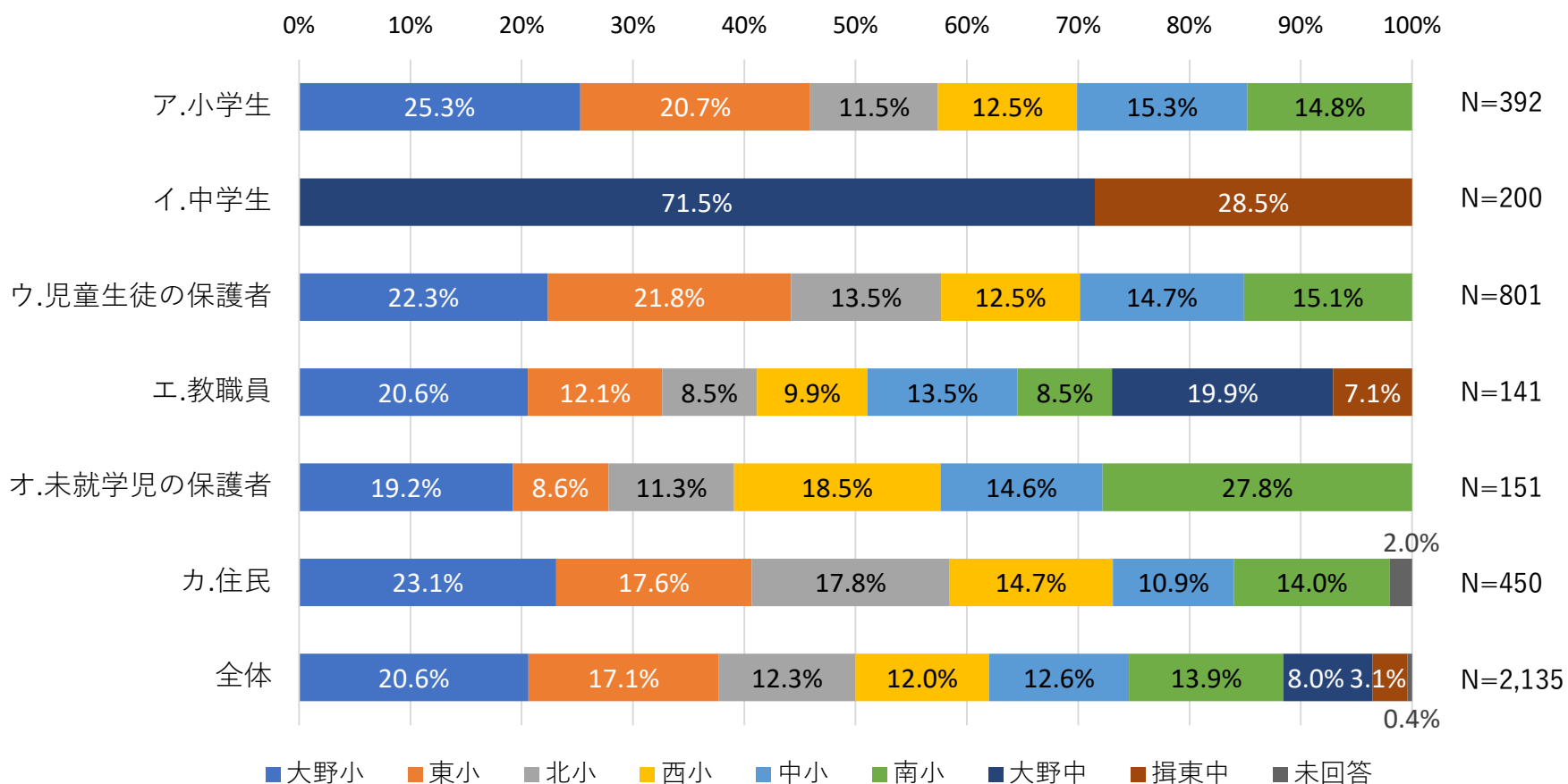
- 「住民」の回答者の年齢は「60歳以上」が半数以上であるが、20代～40代が少ないのは、大半が保護者であり、保護者として回答されているためである。



◆ Q2：小学校区（中学校区）

- 回答者が住んでいる小学校区、または通勤通学先は「大野小学校」が最も多く20.6%であるが、小規模の学校区も10%以上の回答数を得ている

※「ア.小学生」「イ.中学生」「ウ.教職員」は通う学校、それ以外は住んでいる学校区を意味する



調査結果【回答者属性】

【参考】クラス数（R4年8月時点）

	大野小	東小	北小	西小	中小	南小	大野中	揖東中
1年生	2	2	1	1	2	1	5	2
2年生	2	2	1	1	1	1	5	2
3年生	2	2	1	1	1	1	5	2
4年生	2	1	1	1	1	1	—	—
5年生	2	2	1	1	1	1	—	—
6年生	2	1	1	1	1	1	—	—
計	12	10	6	6	7	6	15	6

現時点のクラス数と、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（H27年1月）」に示されている規模の定義を基に「標準規模の学校」「小規模の学校」と分類



この分類を使ってアンケート結果を確認していきます

【アンケート調査結果分析における属性の設定】

アンケート対象 規模の定義	小学校児童 中学校生徒	児童・生徒の保護者 未就学児の保護者 教職員	地域住民
標準規模（12クラス以上） [大野小、大野中]	標準規模 児童生徒	標準規模 保護者等	標準規模 住民
小規模（12クラス未満） [北小、西小、中小、南小、東小、揖東中]	小規模 児童生徒	小規模 保護者等	小規模 住民

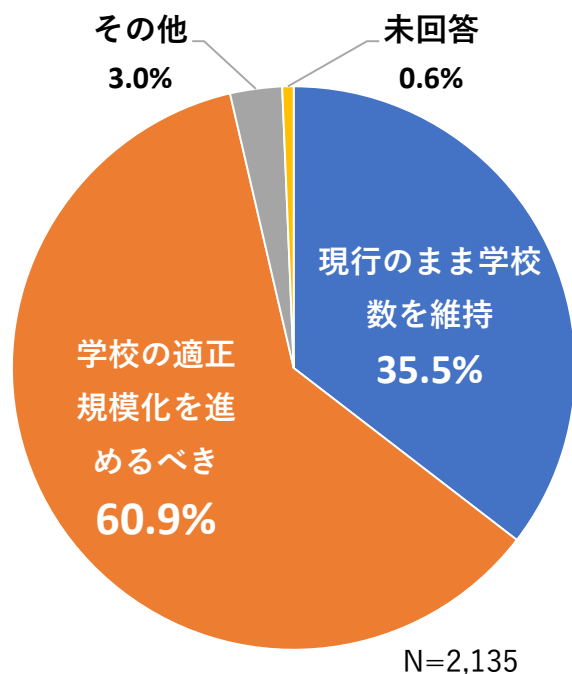


「学校の適正規模化を進めるべき」が、「現行の学校数を維持」を大きく上回る

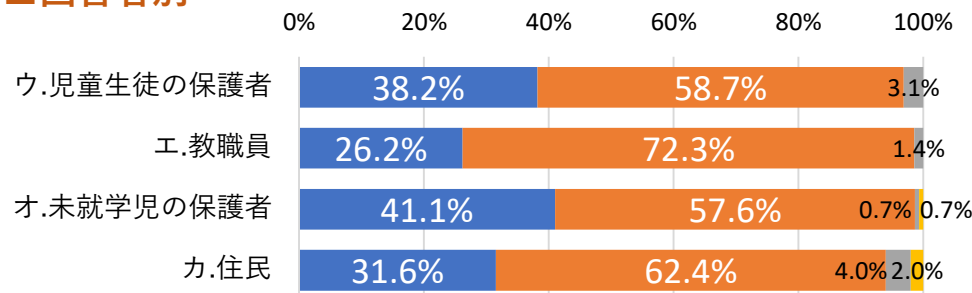
◆ Q10：学校の規模だけを考えて場合、どのようにするのが望ましいか

- 「学校の適正規模化を進めるべき」の回答率は60.9%で、「現行のまま学校数を維持」と回答した人を大きく上回り、特に教職員と住民は顕著である。
- 属性分類別にみても、約6～7割が「学校の適正規模化を進めるべき」との回答であった。

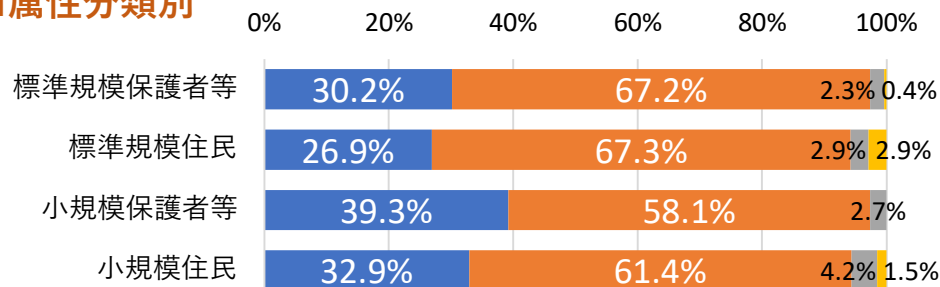
※「ア.小学校児童」「イ.中学校生徒」には、当設問を設定していない



■回答者別



■属性分類別



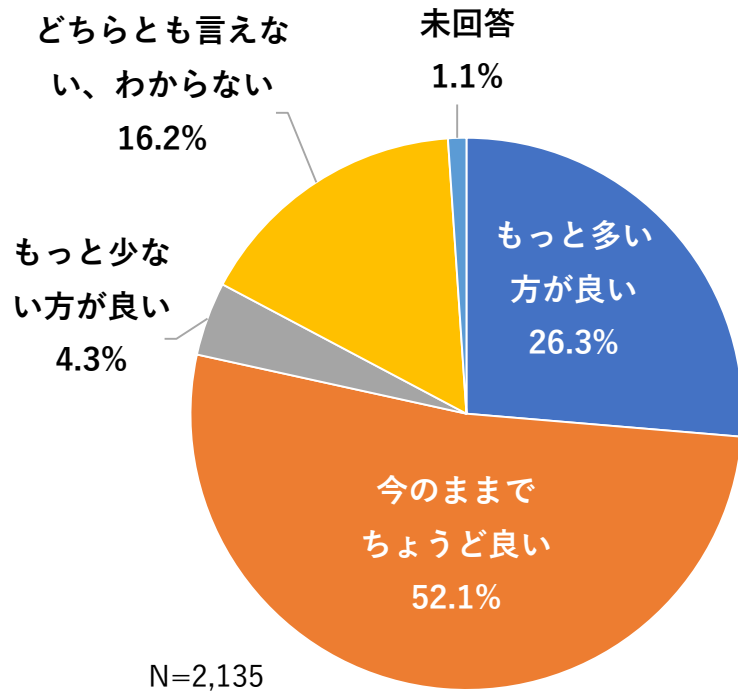
■ 現行のまま学校数を維持 ■ 学校の適正化を進めるべき
 ■ その他 ■ 未回答



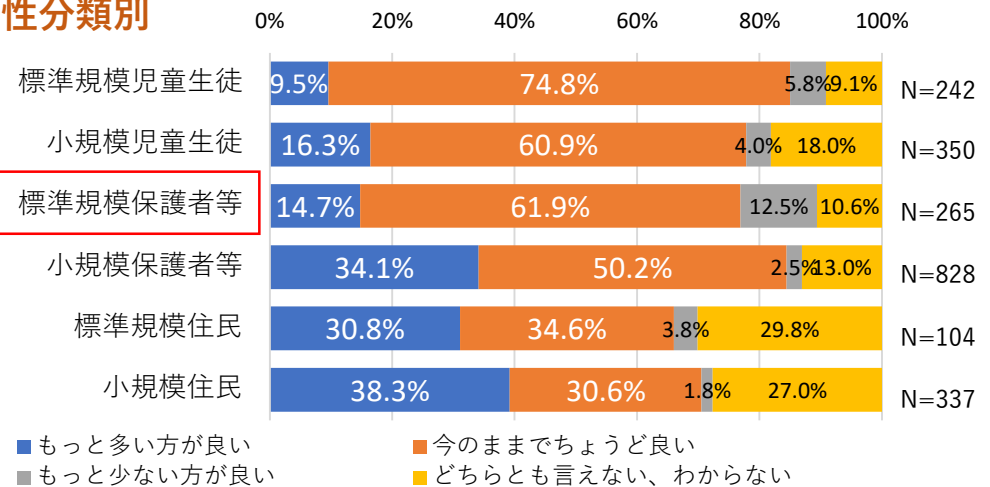
児童・生徒数は「今のままでちょうど良い」、小規模校の保護者等は「もっと多い方が良い」

◆ Q3：学校の児童数・生徒数について、どのように感じるか

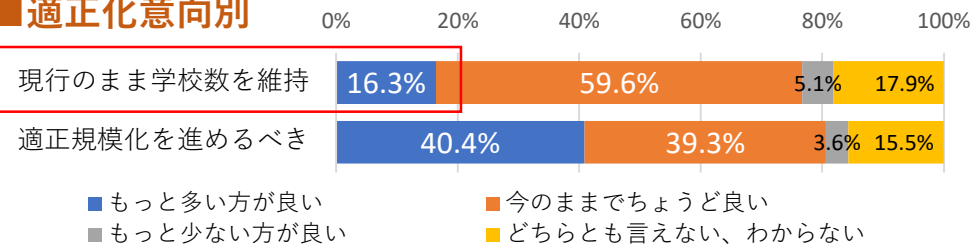
- 全体では、学校の児童数・生徒数について「今のままでちょうど良い」が52%
- 小規模の学校の保護者は「もっと多い方が良い」と考える傾向がある
- 「学校数は現行のままでいい」と回答された方は、「今のままでちょうど良い」と考える方が一番多く59.6%だが、16.3%の方は「（児童生徒数は）もっと多い方が良い」と考えている。



■ 属性分類別



■ 適正化意向別



◆ Q4：学校の児童数・生徒数について、どのように感じるか 回答の理由

- 「もっと多い方が良い」の理由として、もっと多くの友達と関わりたい、クラス替えは必要、など多様な人間関係を希望する意見が多く、特に小規模の学校の児童生徒や保護者に多く見られた
- 「今のままでちょうど良い」と回答した理由として、先生が目が行き届くといった教育面での意見が標準規模の学校、小規模の学校の両方で多く見られた
- 先生が目が行き届くという意見は、「もっと少ない方が良い」と回答した特に標準規模の学校の保護者で見られ、学校規模の適正化を図る際に配慮すべき事項といえる。

もっと多い方が良い と回答した主な理由

- もっと多くの友達と関わりたい・・・127件（小規模児保護者等：48件、小規模児童生徒：31件）
- クラス替えは必要と感じる・・・84件（小規模保護者等：71件）

今のままでちょうど良い と回答した主な理由

- 現状に問題なし・・・203件（小規模保護者等：66件、小規模児童生徒：62件）
- （今のままだ）先生が目が十分行き届く規模だと思う・・・170件（小規模保護者等：124件）

もっと少ない方が良い と回答した主な理由

- （もっと少ない方が）先生が目が十分行き届く規模だと思う・・・28件
（標準規模保護者等：13件）

どちらとも言えない、わからない と回答した主な理由

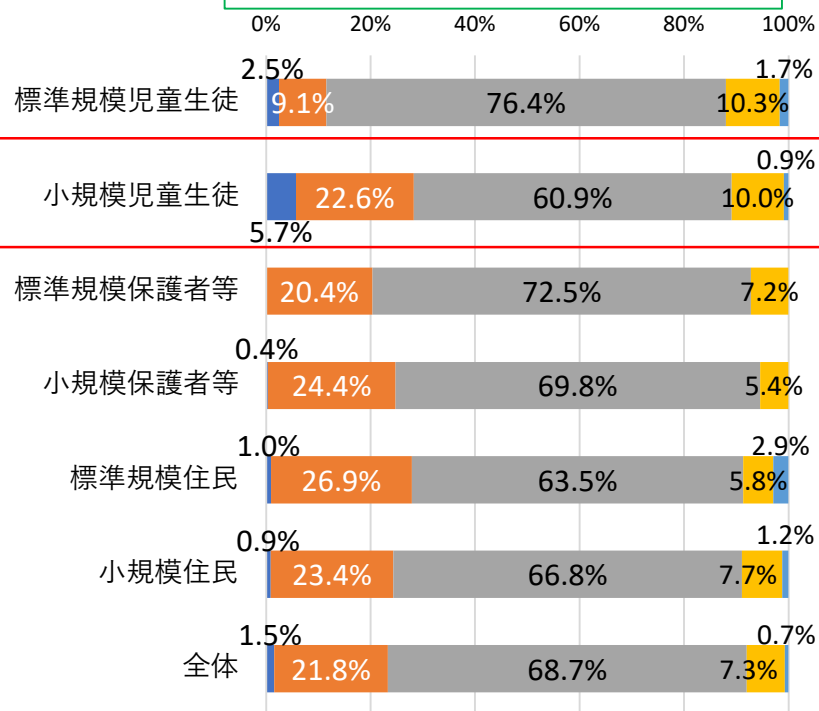
- どちらが良いかよくわからない、学校の状況についてよく知らない・・・107件
（小規模住民：32件、小規模保護者：26件）

◆ Q5 : 1クラスあたりの望ましい人数【属性分類別】

◆ Q6 : 1学年あたりの望ましいクラス数【属性分類別】

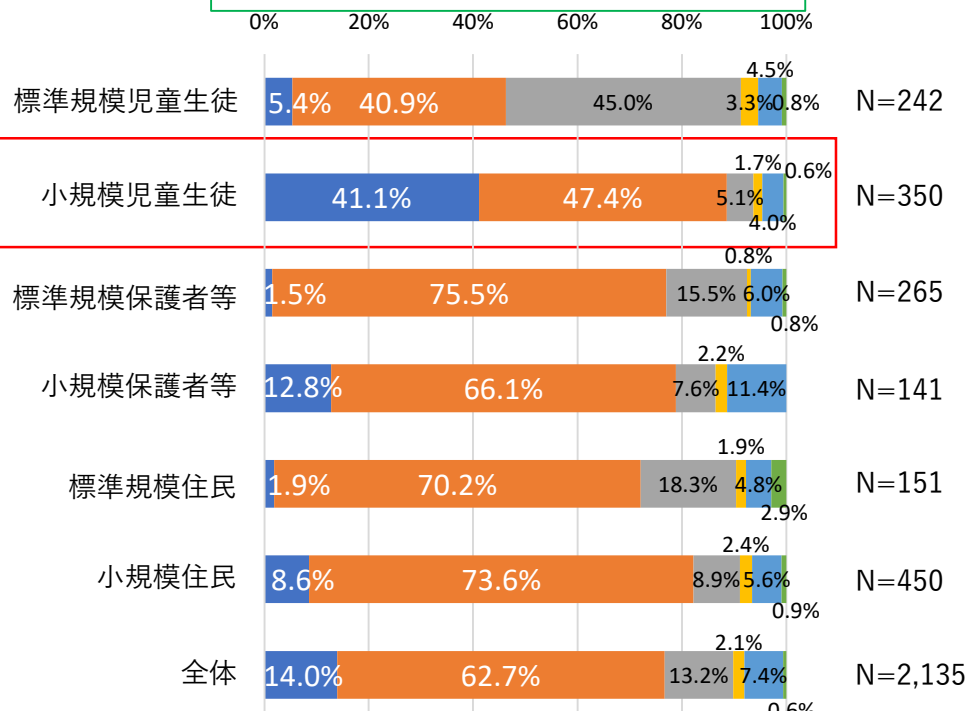
- 「1クラスあたりの望ましい人数」は、全体では「21～30人」が最も多く68.7%を占め特に、標準規模校の児童生徒については、その割合が高い。
- 「1学年あたりの望ましいクラス数」は「2～3クラス」が最も多く62.7%を占めているが、標準規模校の児童生徒については、4クラス以上を望ましいとしている割合が45%と他の属性回答者と比較すると大きく、小規模校の児童生徒は、1学年1クラスを望ましいと考える傾向にある。

1クラスあたりの望ましい人数



■ 1～10人 ■ 11～20人 ■ 21～30人 ■ 31～40人 ■ 未回答

1学年あたりの望ましいクラス数



■ 1クラス ■ 2～3クラス ■ 4クラス ■ 複式学級でもよい ■ 未回答
■ どちらとも言えない、わからない



1 学年あたり「2～3クラスで、
1クラス21～30人」が理想的な規模

- ◆ Q5：1クラスあたりの望ましい人数
- ◆ Q6：1学年あたりの望ましいクラス数

- 1クラスの望ましい人数と、1学年の望ましいクラス数の回答結果を掛け合わせると、「1学年2～3クラスで、1クラスあたり21～30人」という回答の割合が全体の44.0%を占めている
- 2番目に回答割合が高いのは、1学年で「1クラス、21～30人、31～40人」よりも「2～3クラス、11人～20人」であることから、人数よりもクラス数が2～3クラスになることを望む傾向がある。

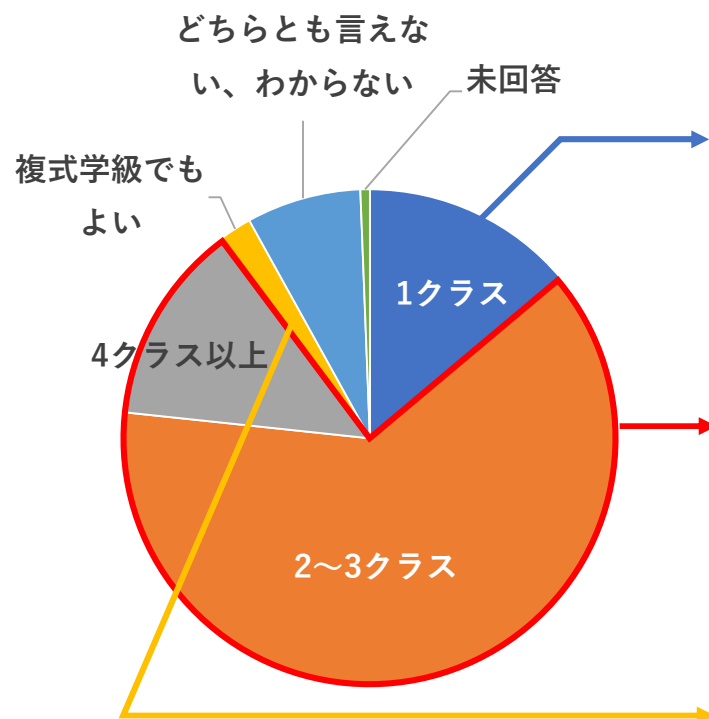
Q5 × Q6 クロス表 ※各割合は、全回答数2,135を分母として計算している

1学年あたりの望ましいクラス数	1クラスあたりの望ましい人数											
	1～10人		11～20人		21～30人		31～40人		未回答		計	
1クラス	16	0.7%	65	3.0%	193	9.0%	22	1.0%	2	0.1%	298	14.0%
2～3クラス	8	0.4%	316	14.8%	940	44.0%	70	3.3%	5	0.2%	1,339	62.7%
4クラス以上	3	0.1%	22	1.0%	200	9.4%	56	2.6%	0	0.0%	281	13.2%
複式学級でもよい	2	0.1%	20	0.9%	20	0.9%	3	0.1%	0	0.0%	45	2.1%
どちらとも言えない、わからない	4	0.2%	38	1.8%	111	5.2%	5	0.2%	1	0.0%	159	7.4%
未回答	0	0.0%	4	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	7	0.3%	13	0.6%
計	33	-	465	-	1,466	-	156	-	15	-	2,135	100.0%

◆ Q7～Q9：1学年あたりの望ましいクラス数 各回答の理由

- 「1クラス」を選んだ理由は、児童・生徒に対する指導や友達同士親密になりやすいこと、「2クラス以上」を選んだ理由は、人間関係、集団の中での学びに関することについてが多く選ばれた

■主な意見



《54.0%》一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が受けられる
 《51.3%》同じ友だちとずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になる
 《21.5%》一人ひとりが意見や感想を発表できる機会が多くなる
 N=298

《56.4%》クラス替えができ、豊かな人間関係が構築できる
 《52.1%》集団の中で多様な考えに触れ、社会性（仲間づくり）や協調性、たくましさ等を育みやすい
 《30.4%》集団の中で、よい意味での競い合いや、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの力を伸ばしやすい
 N=1,620

《64.4%》2つの学年が同じクラスにいて、上の学年が下の学年に教えたり、相互に学び合える
 《42.2%》異なった学年との交流が生まれやすい
 《31.1%》少人数であるため、個に応じたきめ細かな指導を受けられる
 N=45

◆ 自由意見

- 規模適正化に賛成であっても、同時に通学への対応や教育環境の充実を求める意見が多くみられる
- 規模等の適正化に反対意見は小規模校の児童・生徒多くみられた。一方で、今は維持してほしいが将来的には必要という消極的な賛成意見や、学校規模適正化よりも少子化・人口減少抑制対策を優先すべきという意見もある。

意見の分類	主な意見	件数	標準規模校			小規模校		
			児童生徒	保護者	住民	児童生徒	保護者	住民
規模等の適正化 (賛成意見)	<ul style="list-style-type: none"> • 統合し学校を減らすべき • 少子化や教員減少を考えると妥当 	179件	9	20	21	6	<u>71</u>	<u>52</u>
規模等の適正化 (反対意見)	<ul style="list-style-type: none"> • (通っている学校を) なくさないで • 地域ごとに学校がなくなると困る • 現状の規模に不便を感じないので不要 • もっと子供が減ったら考えるべきだが、今は維持していただきたい 	79件	19	4	0	<u>33</u>	14	9
複式学級について (賛成意見)	<ul style="list-style-type: none"> • 複式学級にもメリットがある 	2件	0	0	0	0	0	2
複式学級について (反対意見)	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の進行に不安 	9件	1	1	0	1	5	1

◆ 自由意見

意見の分類	主な意見	件数	標準規模校			小規模校		
			児童生徒	保護者	住民	児童生徒	保護者	住民
通学への対応	<ul style="list-style-type: none"> 通学距離が長くなった場合に配慮が必要（スクールバスの運行など） 通学距離が遠くならないでほしい（1番近い学校を選択できるなど） 	136件	0	27	8	0	68	33
学校の環境	<ul style="list-style-type: none"> 規模等適正化の際、それに見合った教育体制にすべき 教職員の充実 老朽化対策 	41件	1	7	3	1	19	10
人口減少抑制	<ul style="list-style-type: none"> 統合等を避けるため、人口を増やすことに力を入れるべき 空き家対策、企業誘致等による移住定住の促進 	44件	0	2	4	1	18	19
検討の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 既存の校区にとらわれない検討を望む 早急な対応、決定事項の周知 	22件	0	2	2	0	12	6
その他	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の負担の見直し 時代に合った見直しを望む 等 	38件	4	4	3	2	17	8

アンケートの結果の主な内容

- 6割以上（60.9%）の方が「学校規模等の適正化を進めるべき」と回答
- 一方で「現行のまま学校数を維持」は35.5%で、その中でも「児童・生徒の保護者」「未就学児の保護者」における回答割合が比較的高い
- 学校の児童数・生徒数について「今のままでちょうど良い」が過半数（52.1%）を占めるが、小規模校の保護者等は「もっと多い方が良い」と回答する割合が高い。
- 「1学年2～3クラス」かつ「1クラスあたり21～30人」という規模が適当だと考える人が最も多い。
- 自由意見では、「学校の適正規模を進める」ことに肯定的な意見が多く見られたが、同時に、通学手段や教育環境に対する意見も多い。「現行のまま学校数を維持」するべきと回答した人の中も、今は維持してほしいが、将来的には必要とする意見がみられる。

アンケート結果から

- 「学校規模等の適正化」に否定的な方の中にも、今は維持してほしいが将来的には適正規模化もやむを得ないと考えている方も多くみられ、将来的な児童・生徒数の動向をふまえて望ましいクラス数や児童数・生徒数を確保するためには、「学校規模の適正化」を進める必要がある。